



子どもの本新刊情報

ひともっ子

2021年 5月 484号

滋賀県立図書館 児童室



☆令和2年度の pickup

4月は研修・選定用資料(図書)の受け入れは、お休みです。

そこで今号では、2020年7月号から2021年4月号の「今月の pickup」をまとめて掲載し、令和2年度に収集した研修・選定用資料(図書)1,241冊の中から各担当が pickup した資料(図書)をあらためて紹介させていただきます。

令和2年度に刊行されたこれらの児童図書は、当館児童図書研究室で一望いただけます。是非ご活用ください(最終頁に詳細を掲載しています)。



児童図書研究室

2020年7月の pickup

『雨女とホームラン』 吉野万理子//作 嶽まいこ//絵 静山社

野球少年のタツと、同じクラスで隣の席の里桜は、テレビの星座占いに一喜一憂し、ゆうれいやジンクスを気にしてしまう6年生。初めて同じクラスになったふたりは占いの話題で意気投合する。

そんなふたりのクラスに由樹が転校生としてやってくる。由樹は里桜たちと距離を縮めるが、ふとしたことをきっかけにタツと里桜から悪気なく「雨女」と言われ、気に病んだ由樹は遠足を休んでしまう。

それを知った担任の小山先生は、自分の昔の友達のことについて語りだす。目に見えない不確かなものを信じて揺れる子どもたちの気持ちを描きながら、最後は雨上がりのようにすっきりとした気持ちを味わえる物語。



2020年8月の pickup

『大嫌いな君に、サヨナラ』 いかだかつら//さく PHP 研究所

主人公は小学六年生、未永嵐、風景写真家である父を五歳でなくし、母と二人暮らし。ヒロインは都波かれん、転校生。母と二人暮らし。学校では誰とも仲良くしないと決めている(理由は最後に判明)。

舞台は、瀬戸内に面した小さな町。

かれんが再び転校していくまでの半年、互いに気になりながらもうまく話せない二人。最後の最後で・・・。

町の幻想的な光景「肱川あらし」と父が遺したその写真が、二人の紡ぐ物語の鍵となる。嵐は本文で、かれんは本文の合間に挟まれた日記により、それぞれの気持ちがわかる構成となっており、二人の関係のもどかしさがそこでも表現されている。



2020年9月のpickup ※[]内は原書の言語

『ポッコとたいこ [英]』 マシュー・フォーサイス//文と絵 青山南//訳 化学同人

ポッコは森のなかでくらしている、カエルの女の子。ある日、おとうさんからたいこをもらったことで、一家のしずかな生活は一変する。あまりにもうるさいので、おとうさんは外でたいこをたたくようにポッコに言いつける。

ポッコがたいこをたたくと、森のどうぶつたちも楽器をかなで、あとをついてくる。それはやがて大きなバンドになり、ポッコは仲間をひきつけて、大きな音楽とともにおうちへと帰ってくる。

はじめは一人だったポッコだが、仲間がだんだんとふえていく様子があざやかな色合いで描かれている。



2020年10月のpickup ※[]内は原書の言語

『かべのあっちとこっち [英]』 ジョン エイジー//さく なかにしちかこ//やく 潮出版社

見上げるほどに高い壁が、ページの真ん中をあっちとこっちに区切ってそびえたっています。

こっち側にいる主人公の騎士にとっては、何がいるともしれない、怖いあっち側から隔ててくれる頼もしい壁です。騎士は何度も何度もあっち側の怖さを想像し、こっち側の安全を信じて安心します。ところが、いつのまにかこっち側が危険になって、あっち側に助け出された騎士は…。

あっちとこっちで分けることの危うさをチクリと風刺しながら、未知への不安や臆病さで動けない、そんな気持ちを軽くして、「壁」を乗り越えるために背中を押してくれる絵本です。



2020年11月のpickup

『あるヘラジカの物語』 星野道夫//原案 鈴木まもる//絵と文 あすなろ書房

裏表紙に掲載されている1枚の写真。

それは、角をからませたまま骨となった2頭のヘラジカの頭部が写ったもの。

なぜこんな状態に？

「？」が浮かぶこの写真は、アラスカの自然を写真と文章で日本に紹介し続けた星野道夫さんが遺されたもの。

その写真をふくらませ、アラスカの過酷な自然を生き抜く生き物たちの物語をつくり、

「？」に答える絵本を作ったのは、親交のあった鈴木まもるさん。

現在・数時間後・数日後・数か月後・・・、アラスカでの定点観測で撮影された記録写真のように感じさせるのは、伊豆の山中に暮らし、鳥の巣の研究を続ける著者ならではの。

ラストも元写真に敬意を払いつつ、鳥への愛情あふれる著者らしいものとなっている。

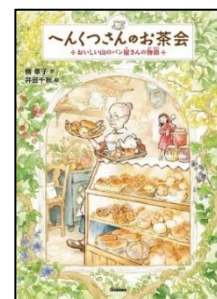
2020年12月のpickup

『へんくつさんのお茶会 おいしい山のパン屋さんの物語』 楠章子//作 井田千秋//絵 学研プラス

動物や小人が暮らす山と人間たちがくらす町の間、かんぱんのない1けんのパン屋さんがある。どのパンもとてもおいしいと評判だけれど、やいているのは気むずかしいおばあさん。いつもぶあいそで、みんなからは「へんくつさん」とよばれている。

へんくつさんのお店には、毎日色々なお客さんがやってくる。お客さんのやりとりから、へんくつさんは実は心のやさしいおばあさんだということが伝わってくる。

おいしそうなパンと登場人物の心の動きが、やさしい文体と絵で描かれている、心温まる物語。



2021年1月のpickup ※[]内は原書の言語

『悲しみのゴリラ [英]』 ジャッキー・アズーア・クレイマー//文 シンディ・ダービー//絵
落合恵子//訳 クレヨンハウス

ママを亡くしたばかりの男の子。ママがいなくなった事実を男の子は受け止めることができない。

しかし、その傍らにはゴリラが寄り添っている。男の子はゴリラに自分の思いを伝え、問いかける。「ママは どこにいったの?」、「ママがいて、ほんをよんでくれたらなあ」、「いつになったら、かなしくなくなるの?」。ゴリラはその思いや問いの行き先へ導こうとする。そうして少しずつママがいない現実を受け入れた男の子は、悲しみと楽しい記憶を分かち合う相手と共にゴリラから離れ、歩き出していく。

賢者のようなゴリラ、遠くから見守るママのような赤い鳥を配し、大切な人を失った痛みを自ら心の中にとりこんでいく様子を、丁寧に描いた絵本である。



2021年2月のpickup

『みんなふつうで、みんなへん。』 榎野浩一//文 内田かずひろ//絵 あかね書房

3年1組 15人それぞれの小さな思い込みや勘違い。

「やってしまった」と少しうつむいてしまうけど、最後はにっこり。

それぞれが主人公であり、脇役にもなる。そんなお話が15編。

タイトルの一部を紹介すると、その雰囲気は伝わるはず。

- 赤いのと迷いながらも買って来たオレンジ色のボールの話
- 手づくりのケーキがまるで売りもののケーキのように思えた話
- まちがえて3年生が2年生用のノートを持ってる話



この本は、毎日新聞（大阪本社版）朝刊「読んであげて」で連載された原稿が元になっている。そのため、一文が概ね短く、声に出して読みやすい構成となっている。

2021年3月のpickup ※[]内は原書の言語

『アパートのひとたち [ヘブライ]』 エイナット・ツアルファティ//作 青山南//訳 光村教育図書

7階だてのアパートにすんでいる「わたし」。どのうちのドアも、どれもちょっとずつようすがちがう。

「わたし」はドアを見て、1階から順番にどんな住人がいるのか想像してみる。どろぼう、サーカスの家族、吸血鬼や海賊など、上の階に行くたびにおかしい住人たちが登場していく。そんな中、7階のドアの「わたし」のうちはすごくふつう。「わたし」はふつうなパパとママがだいすきだが、最後のページをめくって登場するパパとママの姿もまた、おかしい住人なのであった。

個性あふれる住人たちが「わたし」の想像の中で色鮮やかに描かれ、ページをめくるのが楽しくなる絵本。



2021年4月のpickup ※[]内は原書の言語

『ヤーガの走る家 [英]』 ソフィー・アンダーソン//作 長友恵子//訳 小学館

この世とあの世のさかいの『門』の番人をヤーガと呼ぶ。ヤーガたちはそれぞれ足が生えた家に住んでいて、年に何度か移動する。そして、死者を家に迎え入れ、死者の一生をねぎらい、屋内にある『門』からあの世へと導く。

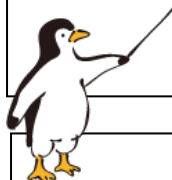
主人公の少女、マリнкаは、ヤーガのバーバと一緒に暮らして、ヤーガの見習いをしているが、本当は町に行ったり友だちを作ったり、もっと自由な世界に出ることを夢見ている。しかし、マリнкаは自ら犯した過ちから、自身の秘密を知り、敬愛するバーバと離れ離れになり、あこがれていた世界に幻滅することになる。

最初は、自分勝手に腹立たしく思えるマリнкаの頑迷さが、読み進むにつれ、幸せを求める強い意志へと印象を変える、主人公の成長を感じられる物語である。



児童室からのお知らせ

- 児童室展示 4月16日(金)～5月20日(木) 「ほんがいっぱいいたのしさいっぱい」展
- おはなし会 5月21日(金) 午前11時～ 県立図書館 1階 談話室 ※第3金曜日に開催 ※県が示す注意以下のステージでのみ開催します。



✿研修選定用資料(図書)について

✿研修・選定用資料(図書)とは？

家庭や地域・学校そして図書館で、子どもたちにどんな絵本や読み物を届けていくのか、手に取って選んでいただくための児童書新刊コレクションです。子どもの本を選ぶ際や、子どもの本に関する講座・研修の場でご利用いただけます。

✿皆様のお声にお応えして

「最近の子どもの本はどんな本があるの?」「新刊本の内容を知りたいけれど1冊ずつ探すのは大変。」そんな皆様のお声にお応えします。毎年約5千冊の児童書が出版されており、その中から本を選んでいくのは大変な仕事です。そこで当館では、「子どもの読書活動に関わる人々への支援事業」として、子どもの本の新刊のうち絵本・読み物を研修・選定用資料(図書)として提供し、本選びのお手伝いをしたいと考えています。

✿研修・選定用資料(図書)を利用するには？

研修・選定用資料(図書)は当館児童研究室で閲覧することができます。カウンターでお申込みください。また、研修会等での出張展示にも対応できます。事前に児童室までご相談ください。

子どもの本に関することにつきましては、下記までお気軽にお問合せください。

(問い合わせ先).....

滋賀県立図書館 児童室 TEL 077-548-9691

開館時間 水～金 午前10時～午後6時

土・日・祝 午前10時～午後5時

休館日 毎週月・火 ※祝(休)日は開館し、翌水曜日を休館

.....